

# 光回線サービスの トラブルに注意!

No. 184

大手通信事業者をかたる光回線の契約トラブルの相談が増えています。今より安くなることを強調して契約を急がせます。

## 【事例1】

「この地域に光回線が入ることになった。IP（光）電話にすれば今より安くなる」と知らない業者が来訪した。いずれ今のアナログ回線はなくなるというため、光回線がどういふものかよく分からなかったが契約した。

## 【事例2】

光回線を大手通信事業者と契約していた。その事業者名を名乗り、「安くなるから新サービスに切り換えなにか」と電話があった。てっきり今の事業者の新プランと思い、指示されるまま大手通信事業者に電話し、「転用承諾番号」

を取り、勧誘してきた人に伝えた。後日、全く違う事業者から書面が届いた。

## ◎消費生活センターより

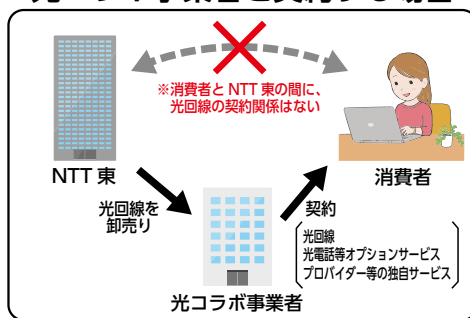
アナログの電話回線が近い将来光回線に移行することは事実です。しかし、光回線を使って通話するIP電話の契約は、パソコンやタブレット等のサービス（プロバイダ）を含むため基本料金が高く、「安くなる」のは通話料の部分くらいです。高齢者に多い固定電話のみの利用者には現時点では不要です。

## 【事例2】は、

光回線の転用（コラボ、卸）と言われるサービスです。NTT東日本が4年前から光回線の卸売を始めたことにより卸売を受けた事業者（光コラボ事業者）が、電話や訪問勧誘をしています。新たなサービスに乗り換える、その光コラボ事業者との

契約となり、NTT東日本との契約はなくなります。

## 光コラボ事業者と契約する場合



契約は口頭でも成立します。断わるつもりであいまいな返事をすると、事業者は契約と受け取ることもあります。書面が届き、一定期間は解除することもできませんので、よく読んで確認しましょう。契約内容がわからないまま契約せず、家族に相談したり、事業者に確認したりして、自分にとって本当に必要かどうか検討しましょう。

心配な場合には、早めに消費生活センターに相談してください。

お問い合わせは、消費生活センター（2階）

☎1101、FAX1600へ。

# 文芸コーナー

## 春の悪戯

近くの竹林から聞こえる鶯の  
声に誘われ 散歩に出た  
竹の子はそろそろかしら  
林の中を覗くのも楽しい

山本 明美

遊歩道脇の雪柳の下

コンクリートの隅に文字が書かれていた

—早く消えろ—

本気が悪戯か

誰が書いたか分からないけど

寒い冬が過ぎ

訪れた芽吹き春に

こんな悲しい文字を残した人の心を想った

近くに咲いていた

菜の花の下葉を摘んで

白い文字をこすった

菜の汁から 春の香りが立って

文字は消えていった

◎選評 齋藤正敏

散歩の途中で発見した心ない悪戯。作者が消した菜の汁から春の香りが立ちました。いよいよ春到来ですね。

●偶数月は「俳句・短歌・川柳」を、奇数月は「詩」を掲載しています。  
●投稿は楷書でお願いします。作品・氏名にふりがなをふってください。

※詩の原稿送付先（直接選者）へ 〒297-0032 茂原市東茂原7番地 齋藤正敏宛。  
「広報もばらの詩」と朱書きしてください。原稿は30行以内でお願いします。

